

JB Customer Report

カスタマーレポート

RISOGRAPH MD

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

A3 両面印刷が孔版印刷機で可能！ 作業には2つのドラムが便利です。

坂祝町役場 様

坂祝町役場 総務課 印刷機担当の井上様に
2012年12月に導入したMD6650Wの感想を伺いました。



封筒の給紙・排紙もバッチリ

①両面印刷で紙を削減、作業効率UP

孔版印刷機だと片面というイメージですが、MD6650Wなら両面印刷が可能。2 in ドラム方式なので、A4はもちろんA3の両面ができるのはマスターを最大限活用できるのでマスターカウントは減っていくと思います。また、4ページ原稿をA4片面からA3両面にしていけば、紙は4分の1に削減できますので積極的に使っていきたいですね。

②封筒も欲しいときに欲しい枚数だけ印刷

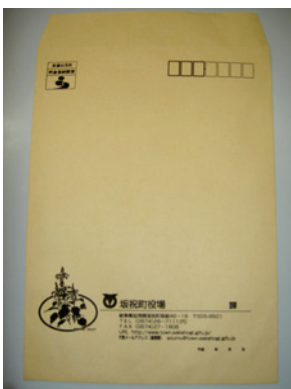
日々の業務の中で、封筒印刷はたくさん使用しています。以前は外注印刷もしていましたが、コストも高く納期も時間がかかります。封筒のように常備されているものは気が付くと残りわずかということがあります。印刷機を使えば決まった原稿なので、欲しいときに欲しい枚数の封筒がすぐ用意できるので助かっています。

③赤ドラムを使用して目をひく印刷を

2 in ドラムは両面だけでなく単色カラー印刷にも活用。赤をいれると目をひく印刷物が仕上がりますので、使用されるかたはよく利用されます。ドラムの入れ替えをしなくて済みますので楽になりました。今後はパソコンをつないで擬似カラーにも挑戦してみたいですね。



必要な時にすぐ印刷できます



◀大きな封筒も
たくさんストックを
置かなくても大丈夫



営業担当者の声

従来の印刷機用途はA4印刷が多く、A3両面であれば十分に経費削減できると思いきやご紹介させて頂きました。そして、印刷物のカラー化が進む中、カラードラムを使用すればインパクトのある会報等が2色印刷出来る為、他自治体様の印刷事例をご紹介したいと思います。

営業担当：三ツ岡 大輔